目　　次

ごあいさつ …… 1

書　道　の　部

書道審査総評…… 2
審 査 委 員 …… 3
最 優 秀 賞（半紙の部） …… 4
最 優 秀 賞（条幅の部） …… 7
優秀学校賞 …… 10
特　　選（半紙の部） …… 11
特　　選（条幅の部） …… 13
準　特　選（半紙の部） …… 15
準　特　選（条幅の部） …… 17
奨　励　賞 …… 19
応 募 点 数 …… 19

交通安全ポスターの部

交通安全ポスター審査総評 …… 20
審 査 委 員 …… 21
最 優 秀 賞 …… 22
優秀学校賞 …… 25
特　　選 …… 26
準　特　選 …… 28
奨　励　賞 …… 30
応 募 点 数 …… 30

書　道　審　査　風　景

交通安全ポスター審査風景

ごあいさつ

全国共済農業協同組合連合会
青森県本部長　小　山　主　税

はじめに、平成26年度JA共済青森県小・中学生書道コンクールならびに交通安全ポスターコンクールに作品を応募していただいた皆さんへ、心からお礼申しあげます。そしてめでたく入選された皆さん、本当におめでとうございます。

また、本県のJA共済事業が昭和29年４月１日にスタートしてこのたび60周年を迎えることができました。

この記念すべき節目の年に無事コンクールを開催することができましたことに対し、心からお礼申しあげます。

おかげさまで、書道コンクールが今年で58回目、交通安全ポスターコンクールが37回目を数えるに至りました。

質・量ともに県内屈指のコンクールとして高い評価をいただいております。

これもひとえに、皆様方の深いご理解と関係各位のご指導・ご高配の賜物であり、ここに深く感謝の意を表する次第であります。

さて、このコンクールは、共済事業の理念である相互扶助と思いやりの精神を、次代を担う小・中学生の皆さんに伝えていくとともに、書写教育への貢献と図画工作・美術教育の高揚を図り、交通安全思想を幅広く社会に訴えることを目的として開催しております。

昨年度は、全国コンクールにおいて、書道の部で１名の児童が「農林水産大臣賞」という、大変名誉ある大賞を受賞することができました。

また、ここ数年、書道・交通安全ポスターともに連続して全国表彰をいただいております。

これも偏に作品を応募していただいた児童・生徒の皆さんを始め、保護者の皆様とご指導いただいた先生方のご協力があってのことと深く感謝しております。

今年度の書道コンクールには、県下376校の小・中学校ならびに特別支援学校の皆さんから、半紙の部、条幅の部合わせて12,597点の応募をいただき、交通安全ポスターコンクールには116校から788点の作品が寄せられました。両コンクールともに熱意溢れる非常に優秀な作品が数多く見受けられ、作品をお寄せいただいた皆さんの日頃の努力の賜物と深く敬意を表します。

今後、最優秀賞受賞作品は県代表として全国コンクールに出品することになっており、昨年度に引続き入賞を大いに期待しているところであります。

書写・美術教育を通じて芸術を学ぶことは、皆さんの「創造性」を養うことに役立つものと考えます。その意味でも、今後も努力と精進を重ね、更なる技術の向上と研鑽を積んでいただき、来年度以降も多数の作品の応募を期待しております。

最後に、両コンクールの運営にあたり格別のご尽力をいただきました県内各JAおよび関係各位、後援団体、審査にあたっていただきました各審査委員の皆さまに厚くお礼申しあげますとともに、今後ともより一層のご理解とご協力をお願いし、あいさつといたします。

書道審査総評

審査委員長　鎌　田　雨　溪

○昭和23年12月11日生
○師　宮川翠雨
○日展入選４回
○青森県文化奨励賞
○銀座鳩居堂
ニュージーランド・オークランド・ロンドン・クライストチャーチ・ニューヨーク等
個展15回

講　評

昨年度も出品された方々の努力が結実し、全国展において非常に優れた成績を収める結果となり喜ばしい限りです。

出品状況の内訳は小中学校をあわせて12,597点、参加校数376校で、昨年に比べ参加校が１校ふえたものの応募点数では約433点の減少でした。児童数減少の現状から考えると致し方ないものと考えます。

今年も一次選考に選ばれた小学生の作品傾向は、基礎的技術の高さと、大らかさが目立ちました。中学生の作品は端正で落ち着きがある。いずれも長い時間をかけて技術を身につけたことによる、自信に満ちた輝かしい作品揃いでありました。

小学生や中学生の頃のその時点で真剣にやったことは無駄になることはありません。

自分自身のことを考えると小学生の頃の習字の課題の言葉を時々思い出すことがあります。そして同時にその時にはその頃の情景が脳裏に浮かんでくるのです。自分はそのような子供の頃の経験を積み重ねて現在の自分があるのだなとふと感じることがあります。

私のように書道をつづけた特殊な者だけではなく、私の教え子の中にも数名は同じことを言っています。

その中の一人は、自らが仙台市で起業し上場企業を目指しています。高校生まで続けた書道を最大限に生かし、筆字による情報誌を作るなどユニークな方法を取ることで注目を浴びそのうえ自身の想いを伝えるとか、印刷ではあるが毛筆による年賀状でその年の夢を伝えるなど様々です。彼の立派なオフィスの入り口には高校時代に臨書した「蘭亭序」全臨が掲げられています。そしてそれが商用のお客様が訪ねてきたときには本題に入る前の導入の会話となるのだそうです。まさしく自分の生きてきた積み重ねが現時点にまで生かされている顕著な例といえます。

低学年の方々には少々難しい内容になりましたが、保護者の皆さん是非噛み砕いてお知らせくだされば幸いです。

最後に、無効作品について重ねて申し上げます。昨年の598点に対し今年は827点と少々増加しました。まだステージに上がることすらできない生徒がおられます。ご指導される先生方は、お忙しいこととは存じますが募集要項を詳しく読んでいただいて、無効作品がさらに少なくなるようにご協力お願いいたします。

審査委員

矢　越　郁　也

○昭和24年９月11日生
○師　坂本素雪
○芸術院展入選
○下北書人会員
○毎日展入選

菊　池　翠　汀

○昭和25年９月16日生
○師　宮川翠雨
○読売書法会理事
○翠心会理事長
○雨声会会長
○青森県書道振興会議副会長
○日展入選３回
○読売新聞社賞
○銀座鳩居堂　個展２回

米　田　井　朴

○昭和27年12月24日生
○師　宇野雪村、稲村雲洞
○書文化研究「奇遠會」主宰

岩　崎　栖　鷹

○昭和34年２月21日生
○師　山根渓石

最優秀賞　半紙の部

鎌　田　泰　輔
青森市立本郷小学校一年
（ＪＡ青森）

〔評〕
筆の入りやとめ方がふくらみがあり全体のバランスもよかった。

丸　谷　虎太郎
むつ市立川内小学校二年
（ＪＡ十和田おいらせ）

〔評〕
一画一画がていねいでおおきなうごきの中にも明るさのある作品でした。

谷　川　菜々子
黒石市立黒石小学校三年
（ＪＡ津軽みらい）

〔評〕
たっぷりとした線で、筆の入れ方やはねが力強く堂々とした作品です。はらいの書き方が特にうまい。

沼　山　俊　介

南部町立南部小学校四年
（ＪＡ八戸）

〔評〕
全体にゆったりと落ち着いた印象です。用筆の部分的なところはもっと工夫するところがありますが、作品全体のバランスの良さが抜きん出ていて、素晴らしい作品になっています。

鎌　田　愛　莉

青森市立本郷小学校五年
（ＪＡ青森）

〔評〕
一文字の中で、部分的に形が乱れたところがありますが、キリッと引きしまった線でのびやかに表現しています。紙面に四文字をよく収め、快作です。

工　藤　未　来

藤崎町立藤崎中央小学校六年
（ＪＡつがる弘前）

〔評〕
やや文字が大きめですが正しい用筆で一点一画力強く書かれています。文字の造形も美しくすぐれた作品になりました。名前を入れるスペースも考えましょうね。

細　川　和　紗

青森市立浪岡中学校一年
（ＪＡ青森）

〔評〕
硬質の線質を持ち、すがすがしい。技術的に定まった感があり、迷いがない優れた作品です。

相　馬　舞　桜

弘前市立第三中学校二年
（ＪＡつがる弘前）

〔評〕
全体的なバランスが良い。線が伸びやかで、明るく爽やかな雰囲気のある秀作です。用筆もしっかりしている。

佐　藤　日　香

黒石市立黒石中学校三年
（ＪＡ津軽みらい）

〔評〕
しなやか、かつ伸々とした線質でありながら強靭さも備えている。全体もよく纏まっていてすばらしい作品です。用筆も申し分なく、見事です。

最優秀賞　条幅の部

佐々木　胡　春
黒石市立黒石小学校一年
（ＪＡ津軽みらい）

〔評〕
ゆったりとした筆使いでふくよかで次の線への続きが自然に書かれていました。

工　藤　瑛　斗
青森市立横内小学校二年
（ＪＡ青森）

〔評〕
紙いっぱいに、思いっきり書けました。筆のかえしやはねに力がこもって、子供らしい元気あふれる作品です。

槻ノ木沢 菜々子
青森市立堤小学校三年
（ＪＡ青森）

〔評〕
ていねいに書かれています。漢字と仮名のバランスを考え、行の中心をそろえて、全体をおさめました。流れるような筆運びがきれいです。

佐々木　七　海
弘前市立北小学校四年
（ＪＡつがる弘前）

〔評〕
最後までゆるぎなく、どっしりとした筆使いで、はねやはらいもていねいに書いてありました。

寺　沢　友　里
弘前市立北小学校五年
（ＪＡつがる弘前）

〔評〕
紙面いっぱいに堂々と伸び伸びと表現した立派な作品です。「心の豊かさ」を感じさせてくれます。画と画の組み立てもしっかりと考えて書かれ、まじめな勉強の仕方に好感持てました。今後は名前書きも含めたまとめ方を工夫して下さい。

猪　股　由　聖
弘前市立朝陽小学校六年
（ＪＡつがる弘前）

〔評〕
さすが小学の最高学年です。これまでのまじめな練習の姿勢を感じさせてくれる作品です。一点一画を大切に墨量豊かに実に力強く表現しました。今後は「流れの美しさ」を考えてみてください。もっとすばらしい書きぶりになると思います。

林　本　　遼
国立弘前大学教育学部附属中学校一年
（ＪＡつがる弘前）

〔評〕
立派な作品です。深く強い線で、流れるようなリズムで最後まで書き進めました。一字の中の細太の表現もうまく、立体感のある文字は見事です。名前書きの練習も重ね、更なる勉強を期待します。

水　木　玲　斗
弘前市立第一中学校二年
（ＪＡつがる弘前）

〔評〕
作品の中心を考え、全体を良くまとめた作品です。行書体で表現するために画と画の連続の仕方をたくさん練習したことが感じられます。墨量・文字の大きさ・線の太さが調和した立派な書きぶりです。今後も頑張って下さい。

佐　藤　日　香
黒石市立黒石中学校三年
（ＪＡ津軽みらい）

〔評〕
すばらしい作品です。技量はもちろんですが、豊富な練習量と、高い集中力を感じさせてくれます。漢字と仮名の大きさも、ほどよく調和し、格調高い表現をしました。将来も書に親しみ、勉強を続けてくれるように望みます。

優秀学校賞

書道　小学校の部

弘前市立北小学校

校　長　相　馬　隆　子

書道　中学校の部

鰺ヶ沢町立鰺ヶ沢中学校

校　長　近　藤　将　造

特　選　　半紙の部

佐　藤　仁　理
青森市立浪岡北小学校一年
（ＪＡ青森）

糟　谷　菜々美
弘前市立北小学校二年
（ＪＡつがる弘前）

高　松　舞　博
むつ市立川内小学校三年
（ＪＡ十和田おいらせ）

佐々木　七　海
弘前市立北小学校四年
（ＪＡつがる弘前）

池　田　七　星
むつ市立川内小学校五年
（ＪＡ十和田おいらせ）

木　村　優　花
青森市立浜田小学校六年
（ＪＡ青森）

佐々木　慎一朗
国立弘前大学教育学部附属中学校一年
（ＪＡつがる弘前）

相　馬　あきは
国立弘前大学教育学部附属中学校二年
（ＪＡつがる弘前）

木　村　凪　沙
国立弘前大学教育学部附属中学校三年
（ＪＡつがる弘前）

©2006 JA-KYOSAI

特　選　　条幅の部

鎌田泰輔
青森市立本郷小学校一年
（ＪＡ青森）

工藤未蘭
藤崎町立藤崎中央小学校二年
（ＪＡつがる弘前）

長利麻裕
青森市立大野小学校三年
（ＪＡ青森）

澁谷飛向
平川市立竹館小学校四年
（ＪＡ津軽みらい）

鎌田愛莉
青森市立本郷小学校五年
（ＪＡ青森）

乗田沙梨
鶴田町立富士見小学校六年
（ＪＡつがるにしきた）

對　馬　茉　子
平川市立平賀西中学校一年
（ＪＡ津軽みらい）

奈　良　乃恵瑠
弘前市立第三中学校二年
（ＪＡつがる弘前）

寺　沢　安　乃
弘前市立第一中学校三年
（ＪＡつがる弘前）

©2006 JA-KYOSAI

準特選　半紙の部

佐々木　眞　那
十和田市立藤坂小学校一年
（ＪＡ十和田おいらせ）

東　　陸
むつ市立川内小学校二年
（ＪＡ十和田おいらせ）

橋　本　咲　弥
青森市立浦町小学校三年
（ＪＡ青森）

佐々木　洸　太
南部町立南部小学校四年
（ＪＡ八戸）

小田桐　光　希
青森市立橋本小学校五年
（ＪＡ青森）

猪　股　由　聖
弘前市立朝陽小学校六年
（ＪＡつがる弘前）

鎌　田　恭　輔
青森市立浪岡中学校一年
（ＪＡ青森）

奈　良　乃恵瑠
弘前市立第三中学校二年
（ＪＡつがる弘前）

寺　沢　安　乃
弘前市立第一中学校三年
（ＪＡつがる弘前）

©2006 JA-KYOSAI

準特選　条幅の部

阿　部　つばき
青森市立篠田小学校一年
（ＪＡ青森）

沼　田　陽　菜
青森市立浦町小学校二年
（ＪＡ青森）

成　田　珂　帆
青森市立篠田小学校三年
（ＪＡ青森）

古　川　愛　果
藤崎町立常盤小学校四年
（ＪＡ津軽みらい）

上　村　　凜
むつ市立第一田名部小学校五年
（ＪＡ十和田おいらせ）

工　藤　海　斗
板柳町立板柳北小学校六年
（ＪＡ津軽みらい）

佐々木　慎一朗
国立弘前大学教育学部附属中学校一年
（ＪＡつがる弘前）

奈良岡　翠　蘭
国立弘前大学教育学部附属中学校二年
（ＪＡつがる弘前）

猪　股　由　惟
国立弘前大学教育学部附属中学校三年
（ＪＡつがる弘前）

©2006 JA-KYOSAI

奨励賞

半紙の部

青森市立浪打小学校一年	奈良　泰知
田子町立上郷小学校一年	冨樫　羽妙
青森市立堤小学校二年	高坂　真愛
平川市立松崎小学校二年	葛西　菜南
階上町立赤保内小学校三年	水無　茉桜
青森市立浪岡北小学校三年	工藤　咲彩
階上町立赤保内小学校四年	川口　陽世
南部町立南部小学校四年	沖田　　陽
野辺地町立野辺地小学校五年	新谷こころ
むつ市立川内小学校五年	工藤　雛乃
黒石市立黒石小学校六年	中村　咲喜
国立弘前大学教育学部附属小学校六年	工藤　加帆
国立弘前大学教育学部附属中学校一年	林本　　遼
田舎館村立田舎館中学校一年	田澤　宣尚
国立弘前大学教育学部附属中学校二年	三上　希子
国立弘前大学教育学部附属中学校三年	猪股　由惟
国立弘前大学教育学部附属中学校三年	小野　七未

条幅の部

黒石市立黒石東小学校一年	久保田結愛
青森市立浪岡南小学校一年	金崎　柊太
国立弘前大学教育学部附属小学校二年	葛西華那心
平川市立松崎小学校二年	對馬　愛佳
青森市立大野小学校三年	岡田龍志郎
藤崎町立藤崎中央小学校三年	村上愛琉羽
青森市立浪岡北小学校四年	須藤　真央
藤崎町立常盤小学校四年	古川　空侑
黒石市立中郷小学校五年	三浦　叶子
十和田市立北園小学校五年	四橋愛理州
藤崎町立藤崎中央小学校六年	工藤　未来
板柳町立板柳南小学校六年	三浦　朱音
黒石市立中郷中学校一年	長内　　唯
青森市立浪岡中学校一年	鎌田　恭輔
青森市立横内中学校二年	三浦　紗彩
私立弘前学院聖愛中学校二年	伊藤　史恩
国立弘前大学教育学部附属中学校三年	小野　七未
私立弘前学院聖愛中学校三年	寺本　碧季

応　募　点　数

参　加　校	
小学校	288
中学校	88
計	376

区　分	応募点数		
	小学校	中学校	計
半紙の部	10,046	1,677	11,723
条幅の部	651	223	874
計	10,697	1,900	12,597

交通安全ポスター審査総評

審査委員長　宮　本　益　衛

○昭和12年７月１日生

○デザイングループ'60会員

○教美展運営委員

○県展デザイン部門運営委員

審査を終えて

日本という国は四季がはっきりしていて、季節ごとに違う表情を見せてくれますが、北国青森は特に季節の趣が明確で、なかでも秋は実りの秋ともいわれ、豊かな農作物の収穫が期待できる時期です。このところ、自然環境の異変だけでなく食の安心・安全、貿易自由化や米価の大幅引き下げ問題など気がかりなことが多いのですが、英知と工夫をこらして解決するよう求められています。

さて、今回の交通安全ポスターコンクール審査にかかわって感じたこと、考えたことについて述べます。今年は例年より参加校数、出品数がともに増えたことを喜びたいと思います。コンクール参加の機会が数多くある中で、この交通安全ポスターコンクールに出品を決めてくれたことに感謝します。ところで、実際に審査した審査委員のみんなが指摘したのは、作品のていねいさという質のばらつき（差）がはっきりしていたことです。

数多く出してくれたのはうれしいことなのですが、夏休みの課題として集めた作品を、そのまま出品したのではないかと思われる例が見られたのは残念でなりません。特に小学生の場合は、事前事後の指導が適切に入るかどうかが作品の質を左右します。

そんな中でも“これはいい！”という作品を見つけだすことができると、審査する側にも自然と笑顔がこぼれます。アイデアの新鮮さ、ていねいな描き方などが目に飛び込んでるのです。

交通安全ポスターのように、見る人に訴える視覚的な強さが求められるものの場合は、できるだけ表現したいもの（テーマ）を絞った図柄で描き表してほしいです。あれもこれも描き入れるとか、説明的な文を多く入れることはかえって訴える力を弱めてしまいます。あくまでも図柄と文で簡潔に勝負することです。なお、細かいことですが、信号機の色の間違いや誤字・脱字がないか、出品する前にもう一度指導される先生方の点検をお願いします。

入賞されたみなさん、おめでとう。

審査委員

古　川　雅比古

○昭和26年４月７日生

○グループ螺子会員

楠　美　茂　樹

○昭和36年11月13日生

○青森県警察本部　交通部　交通企画課課長補佐

小　林　　裕

○昭和27年５月13日生

○一般財団法人青森県交通安全協会　専務理事

最優秀賞

長谷川　　蓮
弘前市立致遠小学校一年
（ＪＡつがる弘前）

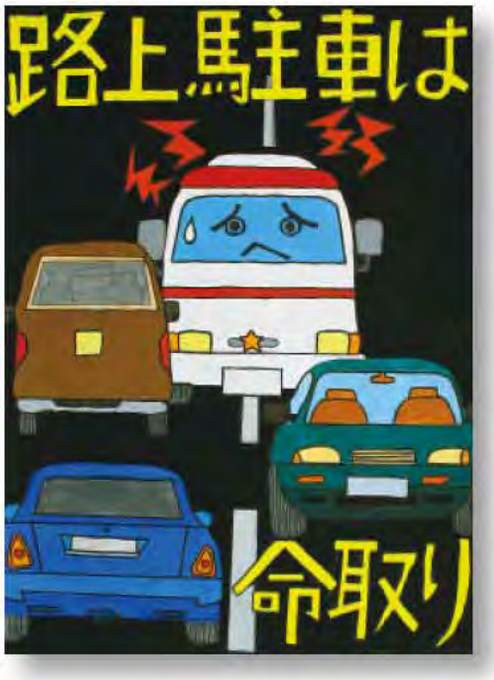
〔評〕
横断歩道をわたる良い子をめだつように力づよく描いています。色あいがくすんでいるのが少し残念ですが、全体が同じ調子でまとまっています。

古　川　美　姫
十和田市立東小学校二年
（ＪＡ十和田おいらせ）

〔評〕
絵全体に危険がせまってくる力づよさを感じます。女の子の表情がとても良く表現され、文字もきちんとまとまっています。

松　原　絵　菜
風間浦村立易国間小学校三年
（ＪＡ十和田おいらせ）

〔評〕
画面全体のつくり方（構図）がとても良いですね。少年の表情と背景のトンボが「安全で安心な世界」へ効果的な役割をはたしています。



石　黒　結　子
国立弘前大学教育学部附属小学校四年
（ＪＡつがる弘前）

〔評〕
車だけを並べて表しためずらしい作品ですが、それだけに迷惑駐車の害が強調されて感じ取れます。画面全体の中でまっ白い救急車がとても印象的ですね。

佐　藤　なつめ
六戸町立六戸小学校五年
（ＪＡおいらせ）

〔評〕
左上のコピーライトと３人の少年たちの配置がピッタリ決まりました。また、少年たちの表情もすてきですね。下の「交通安全」の文字の処理をもう少し工夫したらベストの作品になりました。

大　髙　　愛
弘前市立新和小学校六年
（ＪＡつがる弘前）

〔評〕
今、問題になっている“ながらスマホ”を題材にし、ていねいな仕上げのポスターです。文字の大きさと図柄のバランスをもうひと工夫するとさらに効果的になります。

小　倉　　唯
青森市立造道中学校一年
（ＪＡ青森）

〔評〕
信号無視した人の瞬間の表情がよく表されている作品です。人物以外の色ぬりと文字のあざやかさを工夫するともっと見ごたえのある作品に仕上がります。

関　口　結　実
八戸市立第一中学校二年
（ＪＡ八戸）

〔評〕
文字と図柄の明暗のバランスが見事で、人物の暗い中間色と反射材の配色もテーマにそった理想的な作品になりました。

菊　池　　翠
むつ市立田名部中学校三年
（ＪＡ十和田おいらせ）

〔評〕
図柄の表現が特異な印象を与え、作者のオリジナルな発想だとすれば、これまでにないおもしろい作品です。

優秀学校賞

交通安全ポスター　小学校の部

青森市立新城中央小学校

校　長　須　藤　清　明

交通安全ポスター　中学校の部

板柳町立板柳中学校

校　長　新　潟　春　夫

特　選

岩　本　結　維
青森市立新城中央小学校一年
（ＪＡ青森）

山　下　來　心
西目屋村立西目屋小学校二年
（ＪＡつがる弘前）

鷲　尾　華　の
青森市立小柳小学校三年
（ＪＡ青森）

舘　　梓　生
むつ市立第二田名部小学校四年
（ＪＡ十和田おいらせ）

大　島　有　翔
八戸市立三条小学校五年
（ＪＡ八戸）

苫米地　悠　太
青森市立大野小学校六年
（ＪＡ青森）

牧　　祐　希
青森市立浪打中学校一年
（ＪＡ青森）

成　田　南　実
板柳町立板柳中学校二年
（ＪＡ津軽みらい）

佐々木　優　成
国立弘前大学教育学部附属中学校三年
（ＪＡつがる弘前）

準特選

高　橋　賢　伍
八戸市立白山台小学校一年
（ＪＡ八戸）

中　里　桜　子
弘前市立北小学校二年
（ＪＡつがる弘前）

目　時　聖　那
八戸市立小中野小学校三年
（ＪＡ八戸）

関　口　実　佳
八戸市立吹上小学校四年
（ＪＡ八戸）

今　　愛結奈
青森市立造道小学校五年
（ＪＡ青森）

兜　森　ち　よ
弘前市立文京小学校六年
（ＪＡつがる弘前）

田　村　郁　乃
つがる市立稲垣中学校一年
（ＪＡつがるにしきた）

中　村　颯　吾
青森市立浪打中学校二年
（ＪＡ青森）

畑　井　柚　香
青森市立造道中学校三年
（ＪＡ青森）

奨励賞

六ヶ所村立南小学校一年	赤石　蒼空
青森市立後潟小学校一年	岩﨑　寿々
弘前市立豊田小学校一年	小山内実優
五所川原市立三好小学校二年	佐藤氷羽凪
むつ市立関根小学校二年	種市　倖雅
十和田市立洞内小学校二年	富岡　愛麗
青森市立沖館小学校三年	田中　夢乃
十和田市立東小学校三年	三浦　優音
八戸市立三条小学校三年	大島　聡太
青森市立横内小学校四年	八木橋優人
三戸町立三戸小学校四年	大平　珠佑
大鰐町立長峰小学校四年	築舘　陽知
青森市立沖館小学校五年	櫻田弥璃彩
国立弘前大学教育学部附属小学校五年	工藤　愛香
東北町立水喰小学校五年	沖澤　瑠菜
おいらせ町立木ノ下小学校六年	小坂　美月
青森市立新城中央小学校六年	阿部　来瞳
青森市立沖館小学校六年	田中　里桜
青森市立浪打中学校一年	西田　文怜
八戸市立大館中学校一年	大森　結
むつ市立大湊中学校一年	工藤　恒星
むつ市立大湊中学校二年	白取　一登
板柳町立板柳中学校二年	三橋　琴乃
南部町立福地中学校二年	下平　幸歩
黒石市立黒石中学校三年	野呂菜津美
国立弘前大学教育学部附属中学校三年	對馬　恵大
国立弘前大学教育学部附属中学校三年	工藤　咲良

応　募　点　数

区　分	参　加　校	応募点数
小　学　校	99	542
中　学　校	17	246
計	116	788

©2006 JA-KYOSAI

© 2006 JA-KYOSAI

第58回ＪＡ共済青森県小・中学生書道コンクール
第37回JA共済青森県小・中学生交通安全ポスターコンクール

JA共済

受け継ぐ意志　未来を創るJA共済